

2019.4

# Library News vol.75

先生のオススメ本 / 新着図書紹介

発行 名古屋経済大学図書館

## 先生の オススメ本！

### 『経済学入門シリーズ 労働経済学入門』

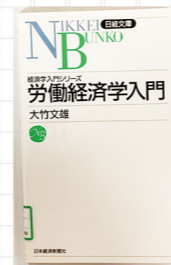
大竹 文雄著（日本経済新聞社）1998

私は近い将来に皆さんの身近な課題になる「労働＝働くこと」についての本を紹介したい。この本には大きく分けて3つの内容がある。まず、ミクロ経済学の基礎に基づき、労働者と企業が主人公となる労働市場において雇用量と賃金（労働への報酬）を決定するメカニズムを説明する。つまり、働きたいと思う労働者と雇いたいと思う企業の行動、および最終的に市場で決定される雇用者数と報酬を決定する仕組みを解説している。

次に、日本の労働市場の特徴である「年功賃金制度」、「長期雇用制度」、「労働者のキャリアと昇進」について経済学的に解説する。

最後に労働環境、学歴、性別、就労産業の相違など、実際の賃金を決定する諸要因を探り、理論的に議論する。

これらの内容をよく理解するために、皆さんには自分でこの本を読み、経済学部の開講する諸科目（市場の経済学、ミクロ経済学、経済システム、雇用と労働、経済政策、専門演習など）を受講して、再びこの本を読んでいただきたい。



経済学部  
VU Thi Bich Lien 准教授

### 『サイコパス』

中野 信子著（文春新書）2016

とんでもない犯罪を犯してしまう実行犯が、実は“サイコパス”という話から始まる。サイコパス（Psychopathy）とは、連続殺人犯などの反社会的な人格を説明するために開発された診断上の概念であり、日本語では「精神病質」と訳されている。しかし、この訳語ではなかなかイメージしにくく、近年、脳科学の進歩により、サイコパスの正体が徐々にわかってきたというのです。その中で、脳内の器質のうち、他者に対する共感性や「痛み」を認識する部分の働きが、一般人とサイコパスとされる人々では大きく違うことが明らかになってきたという。

また、サイコパスは必ずしも冷酷で残忍な殺人犯ではないことも明らかになってきたという。大企業のCEOや弁護士、外科医といった、大胆な決断をしなければならぬ職種の人々にサイコパスが多いという研究結果があるという。

同じ生活空間にサイコパスの人がいるとなると、どのようにして見抜いていけばいいのか、とても興味深いことが書かれている。本書を読むにつれて、徐々に中野氏の思惑通り、のめり込んでしまっている自分に気づく。



経営学部  
吉澤 洋二 教授

ご紹介している資料は、図書館3階で展示しています。

### 『深夜特急』全6巻

沢木 耕太郎著（新潮文庫）1994

大学を卒業して就職した会社を1日で退職し、その後フリーライターをしながら、香港や東南アジアを経由してデリーからロンドンまでバックパッカーの旅に出るという旅行記である。作者が旅を人生にたとえ、旅が終盤にさしかかった際に感慨にふける場面は、すべての物事には必ず終わりが来ることを教えてくれる。旅のように人生もまた永遠でないのであれば、型にはまったサラリーマンという生き方ではなく、自分のやりたいことにチャレンジする生き方もあるのではないだろうか。この本に刺激を受け、旅に出る者も多いと言われており、ドラマ化もされている不朽の名作である。みなさんもぜひ日本を飛び出し、自分の目で世界を見て回り、狭い日本の既成概念にとらわれない自由な生き方をしてほしい。



法学部  
水島 玲央 准教授

### 『新装版 台湾人と日本精神』

蔡 焜燦著（小学館）2015

「台湾」と聞けば観光やグルメを連想する人は多く、近年は台湾を訪問する日本人が飛躍的に増加すると共に膨大な情報が世間で共有されているが、台湾がどのような歴史を歩んできたかを知る人は意外と少ない。本書の著者である蔡焜燦氏は日本統治時代の台湾に生まれ、日本人として生きるはずだったが、第二次世界大戦での日本の敗戦によって戦後は台湾人として生きる運命にあった。本書では、戦後の台湾での約40年にわたる戒厳令や言論統制・日本文化の排除を経験する中で、“二つの祖国”を持つ著者が日本人として生きていた誇りと日本精神を台湾人としていかにして現代まで守り抜いてきたかを、戦後の台湾での自身の生き方を挙げて述べている。その上で著者は、現代の日本人が日本人としての自信や誇りを失おうとしている「自虐史観」があることに警鐘を鳴らし、改めて台湾に学ぶことで日本人としてのあるべき姿を取り戻すことを台湾人として主張している。



人間生活科学部  
澤田 康之 准教授

# Information

## ■ 文庫・新書コーナーの並び方を【請求記号順】に変更しました！

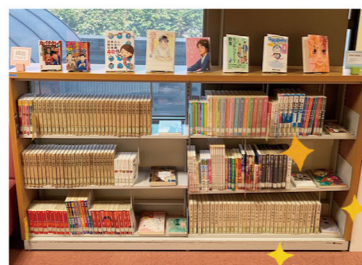
図書館3階の文庫・新書コーナーが、【題名の50音順】から【請求記号順】になりました！（※日本小説913.6のみ、著者名順で並んでいます。）

請求記号は、様々なジャンルを数字で表したものです。図書館の本はほぼすべて、この数字がつけられています。他の図書と同じ方法で探すことができるようになり、また、ジャンル別に並ぶようになったため、利用者の皆さまから探しやすいとご好評いただいています。ぜひ使ってみてくださいね！



## ■ マンガコーナーを新設しました！

図書館2階に、新しく【マンガコーナー】ができました！人気の漫画のバイリンガル版や、皆さんの学科に少し関係する漫画など、皆さんのリクエストも取り入れながら、今後も少しずつ増やしていく予定です。



## ■ エントランスホール使えます

図書館1階エントランスホールでは、壁への展示、楽器演奏などを行うことができます。学生の皆さんの申し込みを常時募集しています！サークルや授業の成果、学外での取り組みの発表など、お気軽に図書館までお問い合わせください。

ご入学＆新学年  
おめでとうございます！

図書館を更に使いやすくするため、  
ご意見・ご要望はお気軽に  
図書館までお寄せください！

**Library News** 発行日 2019.4  
vol.75 (図書館だより) 発行回数 年2回  
名古屋経済大学図書館  
〒484-0000 愛知県犬山市字樋池 61-22  
TEL: 0568-67-3798 / FAX: 0568-67-9321  
E-mail: toshokan@kan.nagoya-ku.ac.jp  
URL: http://www.wopac.nagoya-ku.ac.jp/

# 新着図書紹介

たくさんの新着図書が入りました！  
選書担当おすすめの3冊をご紹介します

## 経済学部

経済っておもしろい！（担当：S）



『ヘンテコミクス』  
佐藤雅彦, 菅俊一原作  
請求記号：331/Sa85



『経済用語イラスト図鑑』  
鈴木一之監修  
請求記号：330/Ke29



『凡人のための地域再生入門』  
地元がヤバい…と思ったら読む』  
木下斉著  
請求記号：601.1/Ki46

## 経営学部

ダイバーシティ(多様性)ってなに？(担当：T)



『「ふつう」ってなんだ？  
LGBTについて知る本』  
薬師実芳, 中島潤監修  
請求記号：367.9/F97



『経営学入門：経験から学ぶ』  
上林憲雄 [ほか] 著  
請求記号：335.1/Ke22



『新移民時代  
外国人労働者と  
共に生きる社会へ』  
西日本新聞社編  
請求記号：334.4/N85

## 法学部

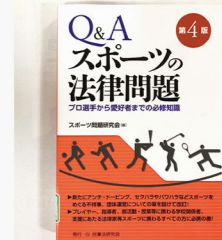
色んな社会に密接！法律のあれこれ（担当：K）



『18歳成人社会ハンドブック』  
田中治彦編著  
請求記号：324.11/J92



『ロボット・AIと法』  
弥永真生, 穴戸常寿編  
請求記号：007.3/R55



『Q&A スポーツの法律問題』  
スポーツ問題研究会編  
請求記号：780/Su75

## 人間生活科学部 管理栄養学科

栄養の基礎を学ぼう！（担当：N）



『ゆる自炊BOOK  
料理って意外に簡単！』  
比留間深雪編集  
請求記号：596/H75



『栄養学の基本が  
まるごとわかる事典』  
足立香代子監修  
請求記号：498.55/A16



『イラストで学ぶ栄養士・  
管理栄養士の世界』  
末永美雪編集  
請求記号：498.14/I63

## 人間生活科学部 教育保育学科

実習用の本揃えました！（担当：I）



『ピカゴロウ』  
ひろただいさく作  
請求記号：376/H74



『オニじゃないよおにぎりだよ』  
シゲタサヤカ作  
請求記号：376/Sh29



『誰でもたのしく書ける！  
まるわかり保育の記録』  
大竹節子 [ほか] 著  
請求記号：376.14/D41